



自ら進んで学び、考える楽しさを感じよう！

副校長 四海 満

いよいよ7月を迎え、まだ梅雨が明けていないにも関わらず、急に夏本番のような気候になってきました。しかしながら子供たちは、暑さに負けず、元気に過ごしています。1学期も残すところ、あと1ヶ月となりました。1学期のまとめをしっかりとしていきたいと思います。

さて、5月のある日の朝のことです。子供たちが登校を終え、教室に入った後、私は朝の支度の様子を見に行こうと、1階の廊下を歩いていました。すると光庭に面した窓ガラスのところに6～7人ほどの1年生の子供たちが屈んで一生懸命に何かを見ながら叫んでいました。子供たちは私を見つけると、「副校長先生！見て見て。」と興奮して声をかけてきました。「どうしたの？」と聞くと、「ここにアリがたくさんいるよ。」と口々に伝えてきました。私も一緒に屈んでよく見てみると、そこには小さなアリがたくさん行列を作っていました。「ほんとだね。あれ、何かを運んでるね。」「ほんとうだ！何か白いもの運んでる！」「えさを運んでるんじゃないの？」と子供たちは一生懸命会話を重ねていきます。そして、「もしかしてこのアリの行列をたどっていくとこのアリたちの巣が見つかるかもね。」と言うと、「え～、本当に？」「あるかな？」とみんな疑問に感じていました。

それから1週間ほど経ったある日に、1年生の子供たちに声をかけられました。「ねえ、副校長先生！この前のアリたちの巣、見つけたよ！」「光庭にあったよ！」と大きな声で教えてくれました。

その子たちは、最初に廊下でアリの行列を見つけてから、どうしようか悩んでいたのでしょう。そして友達と話し合い、アリの行列を辿つていったに違いありません。「見つけたよ。」と教えてくれた子供たちの声は、喜びに溢っていました。私は報告をしてくれた子供たちに「見つけたの？すごいね。」と言いながらとてもうれしく思いました。子供たちが疑問に思ったことを、自分から進んで解決したことを感じたからです。

「少なく教えて豊かに学ぶ」という考え方があります。知識を初めからたくさん与えるのではなく、子供たちが課題を自分のものとして捉え、対話を重ねたり、友達の考えを参考にしたりしながら、解決していくことが大切だという考え方です。

ご家庭でも、お子様の学んでいることにぜひ興味をもって見ていただき、「自分ならどう考えるかな。みんなに説明するしたらどう説明しようかな。」などと、一緒に考えることを楽しんでいただければと思います。そして「考えるって楽しいね。」などと、お子様の前で感想を言葉にしていただければと思います。「お父さん、お母さんも楽しいんだ。」から「私ももっと勉強を楽しもう。」と子供たちが思ってくれるでしょう。

「自ら進んで学び、友達と対話しながら学んでいき、考える楽しさ、解決していく楽しさを味わえる」杉十小では、このような授業を進めています。

体育館床改修工事のお知らせ

夏季休業中を利用して、体育館の床の改修工事を行います。期間は7／21（土）～8／29日（水）です。体育館及び開放管理室の床を改修するため、8月中は体育館内外の学校施設の開放を中止することになります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

道徳授業地区公開講座を終えて

道徳主任　主任教諭

6月23日（土）各学級での道徳の授業を公開しました。「特別の教科　道徳」ということで、体験的な活動を取り入れたり、より深く考えさせるために話し合い活動を取り入れたりしました。詳しくは、「土曜授業だより」をご覧ください。



3校時は、体育館で済美教育センターの教育指導教員の日浦克子先生による公開授業を行いました。5年生児童と保護者、地域の方々と共に「かけがえのない命」について考え、話し合いました。今年度から使用が始まった教科書（東京書籍）の中の、「コースチャぼうやを救え」をよみ、コースチャぼうやを救うために人々が協力したのはどんな気持ちからなのか考え、グループで意見交流をしました。子どもたちのグループに大人が入り、一緒に考えたり話し合ったりしました。温かな雰囲気の中、普段なかなか考える機会のない、でもとても大切なことを共有できた貴重な授業でした。きっと子どもたちの心に深く刻まれたことと思います。

たてわり班活動について

たてわり班活動担当　主任教諭
主任教諭

本校では、1～6年生が一緒に活動するたてわり班活動を行っています。班長を中心に、異なった学年と交流を図り、児童同士の結びつきを強める目的で活動をしています。

5月8日には、顔合わせを行い、班のメンバーや各学年のめあてを確認し、6月の遊びを話し合いで決めました。年間で8回の遊びや給食の活動がありますが、その活動だけでなく、蚕糸の森公園の清掃や遠足、移動教室、土曜授業の活動などの学校行事でも一緒に活動をしていきます。

6年生を中心に楽しい活動となるようにしていきますので、ご家庭でも話題にしてみてください。

ことばの教室より

ことばの教室　主任教諭

杉十小「ことばの教室」は、ことばに関する心配（発音・吃音・ことばの発達・読み書き等）がある児童が対象の通級指導学級です。区内東部地域の杉十小を含め17の小学校から通って来ています。週1～2回45分～90分の個別指導と月1回のグループ指導を行っています。今年度は保護者会も並行して行い、親と子それぞれの交流を図る場となっており好評です。また写真のように、杉十小の児童にはことばの教室の理解を深めてもらうために、毎年1・3・5年生に「ことばの教室の学習」の授業を行っています。保護者の方へも授業を公開していますので是非ご参観下さい。お子さんのことばに関するご心配がありましたら、お気軽にご相談ください。
(連絡先：教室直通 3318-7771)



楽しかったよ！弓ヶ浜移動教室(6年生)

6年 主任教諭

6月4日(月)～6月6日(水) 2泊3日の弓ヶ浜に行ってきました。出発式。お見送りに来てくださったたくさんのおうちの方や教職員のみなさんに、「行ってきます！！」と元気いっぱいのあいさつで出発した小学校生活最後の移動教室。

1日目は、潮の香いっぱいの下田海中水族館でのイルカショーや生き物鑑賞、弓なりのきれいな白浜と輝く青いオーシャンビューに思わず拍手、そして夜は満点の星と波の音にうつとりでした。二日目は、真夏のような素晴らしいお天気の中、杉十小では何と！6年ぶりとなるサンドスキー。伊豆の自然が生み出した絶景の中で、砂まみれになりながら思いっきり滑ってきました。そして、午後は潮の引いた海で磯観察。カニにヤドカリ、ヒトデにウミウシ、ナマコなどたくさんの生き物に大歓声！そして、夜は温かい温泉にゆっくりつかってぽつかぽか、そして待ちに待った肝試しで大盛り上がり。3日目は東京も梅雨入り宣言で朝から雨。でも、伊豆シャボテン公園ではたくさんの動物たちと触れ合って楽しみました。

帰校式では、校長先生から「さすが6年生！元気に明るくみんなで思いっきり楽しむことができましたね。」とうれしいお話をいただきました。仲間とともに同じ時を過ごした経験や係活動など、生活面でも大きな満足感と達成感をもって帰ってくることができました。私たち担任も5年生から1年間の確かな成長を実感しています。この3日間を通してつけたチームワークや自信をこれから的一日一日につなげて、さらに大きくたくましく伸びてほしいと願っています。

消防署見学

第4学年担任 教諭

6月21日(木)、社会科見学として杉並消防署の見学に行ってきました。消防署職員の方々から、防火衣への早着替えやポンプ車の様子などを間近で見せていただきました。また、署内での仕事についてのお話を聞かせていただき、自分たちが住む町の安全を守る方々の仕事について、詳しく学ぶことができました。発災の連絡から60秒以内に防火衣に着替えること、署内に寝泊まりしていつでも救助に向かえるようにしていること、様々な車があり、状況に応じて出動できるようにしていること。たくさんの驚きとともに、学びの多い見学となりました。まとめとして新聞を書きましたので、ご来校の際にはぜひご覧ください。



蚕糸の森研究所～地域で学ぶ・地域を学ぶ・地域と学ぶ～

研究主任 主任教諭

本校の校内研究は、本年度より「蚕糸の森研究所～地域で学ぶ・地域を学ぶ・地域と学ぶ～」という主題で研究を行っています。本校は、蚕糸の森公園の中にあり、「学校防災公園」という機能をもつ特色ある学校です。その特色を活かし、蚕糸の森公園に関わる学習を各学年に位置付け、保護者・地域の方と共に地域の自然、防災機能、歴史等を学ぶことを通して、自分たちの住む地域への愛着や、地域住民として地域を大切しようとする児童を育てていきます。研究授業は、保護者の方に公開していますので、ぜひご来校下さいますようお願いいたします。

■研究授業日程

- ①5/30 3年「カイコ研究室」(実施済) ②6/27 5年「防災研究室」(実施済) ③9/12 2年「花だん研究室」
④10/31 1年「自然あそび研究室」 ⑤1/30 6年「蚕糸試験場研究室」 ⑥2/27 4年「ウメ・クワ研究室」
※授業時間は、いずれも13:30～14:15です。